

共田たけふみ

2019.11
Vol.05

Change is
an opportunity

県議会レポート Prefectural Assembly Report

発行責任者／長野県議会議員 自由民主党県議団 共田たけふみ 長野県岡谷市長地権現町3丁目3-3 <http://www.tomodafm.com>



令和元年9月議会 一般質問

アウトドア・キャンプについて

【共田質問1】新潟県燕三条では金属加工技術を活かしたアウトドアメーカーが何社かある。長野県にも優れた金属加工技術を有する企業があり、県としてアウトドア分野の新産業を育成する必要があると感じるが、所見を伺う。

【回答】アウトドア関連産業に関しては、関連する「健康・医療」分野を「長野県ものづくり産業振興戦略プラン(平成30年3月策定)」における成長期待分野として位置づけ、県内企業の参入等を支援しているところ。観光やヘルスケア分野等への波及効果も期待できることから、引き続き、当県の中小企業の持つ技術力や優位性を活かした取組を支援してまいります。

【共田質問2】森林管理が行き届かずに景観を損なっているアウトドアスポットについて、長野県森林づくり県民税を活用して、優先的に整備することが大切と考えるが所見を伺う。

【回答】第3期森林づくり県民税では、使途を拡大し、観光地の景観に合致した森林整備等も実施しており、道路沿いのビュースポットのほか、キャンプ場

などアウトドア活動の拠点でも樹木の伐採などが実施可能となっております。また、「里山整備利用地域制度」では、地域住民の皆様が行う森林の管理・利活用に対して支援をしており、こうした取組により、景観整備の観点も含めた森林の管理が持続的に行われることが期待できます。今後も、これらの制度を活用しつつ、観光部はじめ、市町村や関係機関と連携し、景観の向上に資する森林整備を進めていく所存でございます。

【共田質問3】市町村が運営する公営キャンプ場は、民間企業が運営する人気のキャンプ場に比べると利用者が少ないように見受けられるが、民間との連携及び民間ノウハウの借用についての所見を伺う。

【回答】魅力的なコンテンツづくりに民間のノウハウを活用していくことは、重要な視点のひとつであると認識しています。アウトドア関連企業との連携については、県と株式会社モンベルがアウトドア活動の促進による本県の活性化を目的に、包括連携協定を結んでいます。また、県内には富裕層をターゲットとしたグランピング施設を運営する民間企業も出てきており、市町村から相談があった場合には、こ

れらの企業との連携の橋渡しをするなど、県内の公営キャンプ場における民間ノウハウの活用を進めてまいります。

【共田質問4】第2次アウトドアブームで県内のキャンプ場もにぎわいを見せている。このブームを一過性に終わらせずに、長野県として豊かな自然環境を整備しながら先進のアウトドア県を目指し、流行から文化に昇華させることが必要と考えるが、所見を伺う。

【回答】昨年まで実施した信州デザインেশヨンキャンペーンでは、テーマの一つに「アウトドア」を掲げ積極的に誘客を図るとともに、本年度はサイクルツーリズムの推進に取り組んでおります。また、近年は「アドベンチャーツーリズム」が欧米の富裕層を中心に注目されていることから、今年、長野県観光機構が一般社団法人日本アドベンチャーツーリズム協議会へ参画し、アウトドア体験や各種アクティビティなど、地域の特色を活かした質の高い旅行商品の開発を進め、国内外からの誘客に向け取り組んでおります。自然環境や文化の保護と活用を両立させながら、長野県らしい「文化」として定着するよう、世界に誇る通年型の山岳高原リゾートの形成に向けて、市町村や観光関係者の皆様と連携しながら取組を進めてまいります。